

2019年度児童養護施設若草寮事業報告書

〔事業運営の基本〕

- 1 法人理念の実現を目指すと共に、ユニット化と高機能化に向けて適切な諸計画の策定と実行に努めました。事業計画については、社会的養護の推進と子どもの権利擁護、自己実現が図られる支援、地域支援の視点から、施設職員の意見を求め、現状と課題、具体的取り組みについて検討を図りました。

(1) 理念

- ① 利用者の意向を尊重し利用者が尊厳を保ち健やかに育成されるよう支援する。
- ② 利用者が能力に応じ自立した生活ができるよう支援する。
- ③ サービスの質と経営の透明性を高め経営基盤を強化する。
- ④ 地域住民及び福祉関係者と協力し地域福祉を推進する。

(2) 施設の処遇理念

- ① 私たちは子どもの権利を保障します。
- ② 私たちは子どもの成長・発達を支援します。
- ③ 私たちは子どもの自立を支援します。
- ④ 私たちは地域の子育てを支援します。

(3) 処遇の基本方針

規則正しく心地よい生活と信頼関係を基盤として、児童のひとりひとりが護られ、安心、安全で健やかに生活できる環境を整え、児童の自主性を尊重しながら生活スキルの獲得と豊かな人間性及び社会性の養成をはかると共に学校、こども家庭センターその他の関係機関と連携し、個性、能力及び発達段階に応じた指導と援助を行い、児童の福祉を高め健やかな成長を促し、その自立と家族再統合を支援する。

〔処遇実績〕

1 各月初日在籍児童数

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・2 歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
年 少 児	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
小 学 生	8	8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	76
中 学 生	9	9	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	96
高 校 生	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
そ の 他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	32	30	26	26	27	27	27	27	27	27	27	27	330

2 一時保護・ショートステイ延日数

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	60	113	149	146	52	161	165	180	174	130	149	177	1656
ショート	8	1	29	11	16	2	2	7	4	3			83

3 月別入退所児童数

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入 所	幼 児	1											1
	小 学 生												
	中 学 生				1							1	2
	高 校 生												

	そ の 他														
退 所	幼 児														
	小 学 生		2										1	3	8
	中 学 生		2											2	
	高 校 生														
	そ の 他	3												3	

4 生活時間のめやす

平 日		休 日		備 考
起 床	6:30	起 床	6:30～ 7:00	おおむね適応。一部児童は時間外 (登校渋りのため)
朝 食	6:10～ 7:30	朝 食	6:50～ 8:00	〃
登 校	6:30～ 8:20	学 習	9:00～	おおむね適応
お や つ	10:00～10:30	お や つ	10:00～10:30	〃
昼 食	12:00～14:00	昼 食	12:00～13:00	〃
下 校	14:00～19:00			適応
お や つ	15:00～15:30	お や つ	15:00～15:30	一部児童は時間外
学 習	15:30～	学 習	15:30～	おおむね適応
入 浴	16:00～21:00	入 浴	16:00～21:00	一部児童は時間外
夕 食	17:30～19:10	夕 食	17:30～19:10	〃
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応。一部児童は時間外
自主学習	21:00～24:00	自主学習	21:00～24:00	おおむね適応

5 児童集団行事

	行事名	場所	参加児童職員
4月 4日	花見	ヒメハナ公園、与布土温泉	児童全員職員
4月 21日	地域清掃作業	大内溝掃除	児童 2、職員 2
4月 23日	梁瀬小学校先生訪問	若草寮	梁小 21、若草寮 10
4月 29日	ウオークラリー	神鍋高原	児童 5、職員 2
5月 1日	野外バーベキュー	磯部農村広場	児童 20 職員 8
5月 3日	ビーチバレー	浜坂県民サンビーチ	児童 9、職員 3
5月 4日	野外スポーツ製作活動	但馬牧場公園	児童 12、職員 3
5月 18日	民生委員児童母子部会(山東支部) 花植え, 除草作業	若草寮	委員 6 児童 10 職員 5
6月 1・2日	里親との交流会	但馬牧場公園	児童職員、里親子
6月 1日	ほたる祭り舞台発表	朝来市役所山東庁舎	児童 10 職員 3
6月 23日	カヤック招待行事	竹野切浜海岸	児童 14 職員 4
7月 11日	竹野町民生児童委員施設訪問	若草寮	委員 9 職員 3
7月 20日	山東ライオンズ招待行事	山東自然の家	児童 26 職員 8
7月 22日	ふれあいコンサート	睦の家	児童 6 職員 2
7月 26日	海水浴	小天橋海岸	児童 12 職員 5
7月 31日	海水浴	小天橋海岸	児童 6 職員 3
8月 1日	納涼会「わかくさ祭り」	若草寮庭	若草寮 42 教諭他 30
8月 3日	プール遊び	姫路市市民プール	児童 5 職員 1
8月 4日	兵庫県教職員サマーセミナー	南但馬自然学校	児童 20 職員 7

8月20日	SST研修会招待	シェラトン都ホテル大阪	児童1職員1
8月23日	腹話術、ミニコンサート招待	八鹿ルーテル教会	浅原さん、児童9職員3
10月7日	香美町児童委員施設訪問	若草寮	委員7職員3
10月27日	山南町児童委員施設訪問	若草寮	委員15職員3
10月28日	黒枝豆収穫招待（松本鋼機）	丹波篠山市	児童16職員4
10月31日	ハロウィン行事	若草寮	児童職員30
11月3日	サッカースクール	明石陸上競技場	児童5職員2
11月12日	岡山市西大寺地区民生児童委員施設訪問	若草寮	委員13職員3
11月15日	七五三参り	栗鹿神社	児童2職員1
11月16日	500人委員会山東支部訪問	若草寮	委員8地域の方28 児童13職員5
12月8日	日産労連クリスマスチャリティ公演	赤穂市文化会館	児童8職員2
12月8日	三ツ星ベルトクリスマスコンサート	神戸市	児童7職員3
12月24日	さとうけーき寄贈式	若草寮	児童職員30
12月25日	クリスマス会	若草寮	児童職員地域の方80
1月1日	初詣	栗鹿神社他	児童6職員2
1月11日	みんなの文化祭	明石市市民会館	児童11職員4
2月2・9日	岩津ネギ収穫	朝来市	児童7職員1
2月3日	節分行事豆まき	若草寮	児童全員職員5
2月11日	雪山遊び、宗鏡寺招待行事	神鍋高原	児童13職員4

その他、毎月避難訓練、児童誕生日会の実施、季節行事の実施、自立訓練体験

3月以降、新型コロナウイルス感染症の流行により集団行事は中止。

6 処遇計画の策定と実施

(1) 自立支援

個別児童について、こども家庭センターの処遇指針、児童、保護者、学校、地域の関係機関の意見を取入れ、アセスメントシート、自立支援計画を策定し、計画の実施と再評価を行い、個別児童の課題達成に努めました。

(2) 特別指導

15人の年長児童等について、スポーツや創作活動等の特別指導を行い、情緒の安定と人間性・社会性の養成を図りました。

(3) 個別対応

個別対応が必要とされる児童に生活場面や創作活動での1対1の対応や個別面接を行い、愛着関係の再構築を図り、適切な支援に努めました。

(4) 心理療法

19人の対象児童にプレイセラピーやカウンセリングなどの心理療法を行い、情緒の安定、コミュニケーションやソーシャルスキルの向上、自己解決の意欲や自信の獲得を図るため適切な支援に努めました。また、発達検査等を行い、子どもの特性や効果的な支援について施設内での情報共有を図る事に努めました。

(5) 家庭支援

家庭支援を要する児童とその家庭を対象に相談・指導等を行い、親子関係の再構築や家庭復帰に向けた支援に努めました。

(6) 里親支援

里親支援専門相談員を配置できない状況で例年に比べ、支援体制が整いませんでしたが、睦の家の相談員の協力を得て、こども家庭センター、里親会との連携を図りながら、里親家庭からの相談に応じると共に里親の研修受け入れや里親里子相互の交流・施設児童との交流を図りました。季節里親、週末里親などの家庭生活体験も計画的に実施することができました。

(7) 児童との懇談会

児童の意見や要望を取り入れ、行事計画を立て、児童の自主的、主体的な活動の機会を増やしました。

(8) 施設機能強化推進事業計画を立て、自立促進、地域交流、家庭生活体験、防災対策を進めました。

(9) 支援結果の概要

① 幼児3名は、こども園に通い、元気よく、健やかに生活することができました。こども家庭センターとの連携、保護者との信頼関係の構築を図りつつ適切な対応に努めました。

② 小学生の多くは、施設、学校、その他の社会生活に適応し、明るく、元気よく、生活することができましたが、学習の遅れている児童も多く、特別支援学級入級や施設での学習指導のあり方を検討し、個々の子どもの力に応じた適切な学習指導に努めました。また、発達の遅れや偏りの大きな子どもについては医療機関に受診するなど専門家の意見を求めて効果的な支援、環境設定に努めました。全般の児童について地域との交流、自然体験、社会体験など、様々な活動への取り組みをすすめました。

③ 中学生は、学業面での課題が大きい中でも、部活動に励む児童が多く、意欲的に学校生活を送ることができました。精神的に不安定な一部児童には、登校渋りも見られましたが、学校との連携をとり、子どもへのていねいな指導に努めました。中学校卒業児童3名のうち、1名は公立高校総合学科、2名は私立高校情報科に進学することができました。

④ 高校生9名は、おおむね学校生活に適応することができました。資格取得やアルバイトなどの就労体験を通して自己の適性を理解し、将来の進路について見通しを持てるよう支援を行いました。通信高校に通う高3児童1名は、突発的な発作が起きたり、解離症状があることから一般就労や自立生活は困難な状況であるため、精神保健福祉手帳を取得し福祉型就労支援、居宅支援のサービスを受けることができるよう調整を図りましたが、受け入れ先の確定、マッチングなどの期間、措置延長し、施設での支援を継続する方向になりました。

⑤ 中卒進学児童3名（福知山成美高等学校、県立和田山高等学校）

⑥ 特別な支援の必要な児童17名（知的発達遅れ8名、情緒・軽度発達障害13名重複）

⑦ 継続的に通院が必要な児童18名（精神不安定3、発育の遅れ3、アレルギー9、中耳炎1、弱視2、夜尿1、皮膚疾患5、鼻炎3）

⑧ 里子委託

4月28日～5月5日 里子7里親 7 6月1日～6月2日 里子2里親 2

8月 11日～23日 里子5里親4

11月 9日～10日 里子2里親2

12月 26日～1月 4日 里子5里親4

2月 22日～24日 里子3里親2

〔運営管理〕

1 人事・労務

① 職種別職員数

職種	施設長	指導員 保育士	心理士	事務員	栄養士	調理員	非常勤	嘱託医	計
年度始	1	14	1	1	1	2	4	1	25
年度末	1	15	1	1	1	2	6	1	28

② 職員の採用

月日	職種	人数	福祉施設経歴等	備考
5月21日	保育士	1	有り	退職者の補充
5月21日	児童指導員	1	有り	退職者の補充
11月1日	管理宿直員	1	有り	
12月1日	管理宿直員	1		

④ 職員の退職

月日	職種	人数	勤務年数	退職理由	備考
10月10日	児童指導員	1	6年	自己都合	
3月31日	児童指導員	1	3年	自己都合	

⑤ 職員の休業

月日	職種	人数	勤務年数	休業理由	備考
2月21日～	児童指導員	1	17年	病気療養	

2 規程改正・制定・協定締結及び届出

(1) 規則改正

苦情解決規定（7月17日）、経理規程（11月5日）、公印管理規定（11月5日）

(2) 協定締結

36協定（3月29日締結4月1日届出）

3 健康診断等

(1) 児童

健康診断		予防接種					
春	秋	インフルエンザ	日本脳炎	麻疹風疹	ヒブ肺炎球菌	水痘	二種混合
30	27	23	6	3	1	2	1

通院 延 420名

(2) 職員

健康診断		腸内細菌 培養検査	予防接種		その他		
定期	その他		インフルエンザ				
春16秋24	2	延66	8				

4 消火、避難訓練

各月、年12回

5 監査等

- (1) 行政指導監査 チェックリスト提出(8月8日)
- (2) 内部監査 監事監査(5月29日 監事2人)
- (3) 消防査察 南但消防本部(当面、見合わせ)
- (4) 第三者評価 年度末自己評価
- (5) 安全点検 (毎月、建物、設備、遊具等自主点検)

6 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議
- ② 職員ミーティング
- ③ 給食会議
- ④ 児童と職員の会議
- ⑤ 処遇検討会議(自立支援計画策定会議を含む)
- ⑥ 実習生と職員との反省会議
- ⑦ 行事計画会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

県児養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、行事实行委員会、栄養士会議、小中育友会議、集団給食施設会議、こども家庭センターとの会議、子育て支援規準委員会との会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、自治振興会の会議、処遇関係者・機関との会議、家庭復帰評価委員会、要保護児童対策地域協議会議、里親支援部会会議、学校評議員会議

7 研修

(1) 職員外部研修

県児養連職員部会研修、新任職員研修、中堅職員研修、職員指導者研修、基幹的職員研修、キャリアアップ研修、施設長研修、栄養士研修、給食職員研修、給食施設協研修、SBI児童養護施設職員研修、乳児院・児童養護施設合同研修、防火管理講習、職員交流研修、子育て支援規準委員会研修会、近養協研修会、全養協研修会、西日本職員員研修、児童福祉施設職員ケアリーダー・チームリーダー研修、子育て支援員研修、児童虐待防止啓発研修、性教育研修、里親研修会、情報研修会、会計実務者研修、南但食育推進講演会、社会的養護研修、防火研修

(2) 職員内部研修

事業計画・予算研修、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、処遇技術研修、栄養・給食研修、危機管理研修、法令・諸規定・協定研修、施設職員交換研修、法人事業所間研修、里親研修会、保育研修、発達障害研修

8 苦情や要望に対する対応

口頭及び意見箱に寄せられた内容について、以下の通り対応した。

受付月	内容	対応
31年4月	建物周辺の蜘蛛の巣を取り除いてほしい。	日頃の清掃と共に業者への委託を検討すること、こどもは、夜間、自室に照明を付ける時、カーテンを閉

		めて対策をとるようにしてほしいことを伝える。
31 年 4 月	違うユニットの子どもがテレビを見るために来るので困る。	そのユニットの子どもは、原則ユニット内で過ごす、特別に移動する理由がある場合は職員が説明することを伝える。
1 年 5 月	グラウンドで壁打ちができるようにしてほしい。 公用車を新しく大型に替えてほしい。 旅行を 2 泊 3 日にしてほしい。	施設の予算を考え、検討するが、節約できる所は節約し工夫したいことを伝える。
1 年 8 月	アーティストのライブに行きたい。	学校での決まりに沿い、保護者付添でなければならないこと、高校生は外出の届け出をし、行先、時間など適切であれば認めると説明する。
1 年 9 月	外出の機会を増やしてほしい。	いずれも適切な時間、ルールを決め、出来る限り要望に沿うようにすることを説明する。
1 年 9 月	女子児童の一部がうるさい。静かにしてほしい。	それぞれのユニットで話し合い、特に配慮が出来ない児童には個別に指導する。
1 年 10 月	雲梯をなくし、サッカーをしたい。	建物裏の園庭は、駐車場横で、国道からも近く、球技はできないこと、年少児が遊ぶ遊具として雲梯を設置しており、球技をする場合は、適切な場所で遊ぶよう伝える。
1 年 10 月	天候不良の際、学校まで送迎してほしい。	警報や注意報などが出るような場合、また、危険が感じられる時は送迎することを説明する。
1 年 12 月	部屋にテレビを置いてほしい。 録画機を替えてほしい。	テレビはユニットに設置するが、個室にはおかないことを原則とし、夜間、自室で学習したり、就寝の妨げにならないようにとの意図があることを説明する。録画機は故障もあるため買い替えを検討することを説明する。
2 年 2 月	親の面会時の職員の対応に配慮してほしい。～保護者より	面会には配慮しているが、誤解されているところもあり、説明し、了解してもらおう。
2 年 3 月	部屋替えをしてほしい。	中高生男子居室は満室で移動が困難であること、空き部屋があっても入所児童があることも考え、時期を見て行くと説明する。
1 年 10 月 2 年 3 月	早く学校に行かせてほしい。 家に帰りたい。	一保護児童は、学校に行くことができない場合もあること、家に帰ることが

		できるようになればぜひ調整したい と思うこと、児相の方でも子どものこ とを考えて対応していただいている ことを説明する。
30年3月	夜、眠れないことがある。ここに 来てからずっと眠れず困っている。	職員が、できる限り、眠りやすい環境 を整えるよう配慮することを伝える。

【施設整備等】

- 1 若草寮地域支援・交流室拡張及びリボン建物の新築 完成3月15日
(建物延べ床面積 402.8 m² 敷地 1549.43 m²、国・県補助金 74,284,000 円)
建設費 120,692,000 円
土地購入費 12,490,000 円 4月25日
設計監理費 5,864,000 円
初度調弁費 10,780,558 円
事務諸費 1,155,300 円

- 2 1を除く器具及び備品購入、構築物整備

事務用パソコン7台	963,792 円	4月
中古軽自動車	815,000 円	5月
駐車場整備	2,079,000 円	3月
事務用パソコン2台	262,900 円	2.3月
プロジェクター	182,380 円	3月
テラスヤード	789,800 円	3月

- 3 業務委託

防虫防鼠駆除管理委託	98,100 円	年2回
蜘蛛の巣駆除委託	330,000 円	
消防用設備等点検整備委託	130,800 円	年2回
電気工作物保安管理業務委託	228,504 円	年7回
一般廃棄物処理委託	188,382 円	毎週2回
グリストラップ清掃委託	83,385 円	年4回

【寄付金・寄付物品、助成金】

- 1 寄付金

10万円以上 なし
その他 5件 47,000 円

- 2 物品寄付

63件 278,600 円

寄付金計 325,600 円

【地域との交流・連携】

1 保育実習生及び社会福祉援助技術実習の受入

- (1) 短大～ 神戸女子大短大、湊川短大、豊岡短大
- (2) 大学～神戸医療福祉大、神戸女子大、至誠館大、神戸親和女子大、園田学園大
- (3) 専門学校～大阪保育福祉専門学校
- (2) 実習生数 16人延 173人

2 里親研修の受入

養育里親更新研修 11月10日 里母1名

里親認定前研修 7月13日・15日 夫妻一組

3 介護体験の受入 5月6日～5月10日（神戸親和女子大）1人

5月13日～5月17日（京都産業大）1人 6月17日～6月21日（同志社女子大）

4 こども家庭センター新任職員研修の受入

7月29日 豊岡こども家庭センター2人

ボランティアとの交流・連携

- (1) 山東ライオンズクラブとの交流 クラブ会員 12人 児童・職員30人
- (2) 民生委員児童母子部会（山東支部）との交流、花植え除草作業 委員6名
- (3) 甲南大児童福祉研究会との交流（3月の予定は中止）

6 学校・地域社会を通じての交流と連携

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、高校及び各学校育友会との交流・連携
- (2) 地域の学童生徒の保護者家庭との交流・連携
- (3) サークル、地域行事への参加・施設行事への招待
- (4) 子育て学習センターとの交流・連携

7 関係機関・各種団体との連携

- (1) 県児童課等関係部局、こども家庭センター、健康福祉事務所、教育・保健・医療機関
- (2) 市役所、警察署、消防署、家裁、検察庁、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁
- (3) 民生委員、虐待防止ネット、県・近畿・全国の児童養護施設協議会
- (4) 第三者委員、運営適正化委員会
- (5) 社会福祉協議会・共同募金会、児童福祉・社会福祉財団
- (6) 但馬里親会、要保護児童対策協議会（但馬、丹波篠山各市町）

8 地域の子育て相談事業・支援事業

- (1) 一時保護
- (2) ショートステイ事業
- (3) 子育て相談事業
- (4) 子育てママ支援事業

事業名	実施日時	場 所	参加者数		事業の目的
こども食堂	8月	若草寮	地域親子	延 66	子どもの居場所作り 地域交流サロン
	11月	地域交流室	(ボラン	(7)	
	12月	プレイルーム	ティア)		
		園庭 今出せせらぎ園	施設児童	24	

(5) 里親支援事業

事業名	実施日時	場 所	参加者数		事業の目的
里親サロン	10月28日	若草寮 地域交流室	里親子	10	発達障害児への支援について学ぶ。 こどもとのかかわりについて里親との意見交換、里親家庭の養育相談に対する助言を行う。
			若草寮・睦の家・リボン職員	4	
里親との意見交換 及び家庭養育のあり方学習会	2月27日	若草寮 地域交流室	里親	15	里親家庭への委託時の状況を振り返り、課題の確認を行う。
			豊岡こども家庭センター	4	
			若草寮・睦の家・リボン職員	7	

以上他、通年を通して里親機関、こども家庭センターと連携しながら里親家庭への相談対応、施設研修の受け入れ、施設児童里子委託調整などを行った。